

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	広報に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	3	
政策	41計画の実現のために	担当課室	秘書広報課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	星野 里香			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	広報:4月1日号から毎号の表・裏表紙のカラー化を行い、読みやすく親しみの持てる広報紙とする。ホームページ等:ホームページのリニューアル実施に向けた検討を行う。ツイッター、フェイスブックの掲載内容の充実を図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	広報:より読みやすく親しみの持てる広報紙とする。ホームページ等:「市ホームページリニューアル事業」の実施に向けた検討を行う。ツイッター、フェイスブックの掲載内容の充実を図る。
②①に基づく取り組み結果	広報:4月1日号からは、毎号、表・裏表紙をカラーページとした。ホームページ等:掲載内容の充実を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	広報:市内全世帯 ホームページ等:市民	意図(対象をどうするのか)	広報・ホームページ等の特性を活かし、子どもから高齢者まで、多くの市民に行政情報などを提供する。
②事務事業の概要	市の施策や行事、市民の自主的活動などの市民生活に必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るため、広報紙を発行する。また、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供をホームページ等で随時行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	広報紙:昭和32年5月1日から発行。市ホームページ:平成10年9月1日から開始。ツイッター:平成23年4月11日から開始。フェイスブック:平成26年2月3日から開始。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	「広報かまがや」を年24回(毎月1日号・15日号)発行し、新聞折り込みにより各世帯に配布した。なお、新聞未購読世帯には、広報紙を公共施設や駅に配置するとともに、希望者には個別に郵送した。12月1日号からは、スマートフォン用アプリ「i広報紙」で配信を開始した。また、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供をホームページ等で随時行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	広報発行回数	24	24	24	回	業務取得
	ii	広報発行部数	39,000	39,000	39,000	部	業務取得
	iii	市ホームページ更新件数	1,366	1,386	1,398	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	20,490	19,054	金額(千円)	内容		20,023	
国支出金(千円)			9,207	広報かまがや編集印刷委託			
県支出金(千円)			6,875	広報かまがや新聞折込委託			
市債その他(千円)			43	広報かまがやポスティング委託			
一般財源(千円)	20,490	19,054				20,023	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	広報:より多くの市民が閲読できる環境(配布・配置等)の整備。 ホームページ等:ウェブアクセシビリティの検討。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市民に行政情報などを公平に提供し、市民と行政との情報共有をさらに充実する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況	0	補正		0	現年分
		流用・充当			
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)				